

室長よりご挨拶

県立阪神南地域新設特別支援学校開設準備室が、平成30年4月に設置されました。今後、令和4年4月の開校に向けて情報を発信してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

室長 森川 晃
主任指導主事兼主幹 桂 崇子
主幹 佐藤 真一



阪神南地域新設特別支援学校（仮称）の整備について

1 趣旨

県立芦屋特別支援学校に通学する児童生徒数が増加し、狭隘化が課題となっていることから、新たな特別支援学校を整備する。また、隣接する阪神間の聴覚障害教育の中核拠点である県立こばと聴覚特別支援学校が老朽化していることから、一体的に整備し、多様なニーズに対応する学校とする。

2 事業内容

(1) 新たに整備する学校の概要

- ・ 開校時期 令和4年4月（小・中学部）
令和6年4月（高等部・聴覚部門）
- ・ 対象 知的障害のある児童生徒及び聴覚障害のある幼児
- ・ 設置学部 （知的障害）小・中学部、高等部 （聴覚障害）保育相談部、幼稚部
- ・ 規模 （知的障害）240人、（聴覚障害）42人
- ・ 通学区域 （知的障害）西宮市の一部、（聴覚障害）県下全域

(2) 整備場所

西宮市田近野町

（選定の理由）

- ・ 既存校舎を使用することで、狭隘化解消を早期に図ることができること
- ・ 安全・安心、多様な教育活動や発達段階等に応じた教育環境を整備できること
- ・ 聴覚障害教育及び知的障害教育の専門性に加えて、双方の専門性を生かし、多様なニーズに対応した教育を充実することができること

(3) 敷地面積 14,332 m²

(4) 校舎等の規模

		延床面積(㎡)	主な内容
校舎	普通教室	約 2,500	普通教室・保育室
	特別教室	約 2,000	理科室、音楽室、陶芸室、美術室、被服室、調理室、木工室、コンピュータ室、作業室、福祉実習室、自立活動室、プレイルーム、言語学習室、聴力測定室、聴能訓練室 等
	その他	約 6,300	校長室、事務室、職員室、会議室、保健室、教育相談室、図書室、多目的室、カウンセリングルーム、厨房・ランチルーム等
	小計	約 10,800	
体育館		約1,600	
プール		約200	
合計		約 12,600	

(5) 整備費

約58億円(設計・建築費(既存校舎改修を含む。)、土地購入費)

3 スケジュール

- 令和3年度 基本設計、実施設計、既存校舎改修工事
- 令和4年度 小学部・中学部開校
- 令和4～5年度 建設工事
- 令和6年度 高等部・聴覚部門開校、プール建設工事
- 令和7年度 全面供用開始

阪神南地域新設特別支援学校整備場所の位置及び状況



※国土地理院の地形図を使用